121 シラミ症に対するフェノトリンシャンプーの治療効果

○大滝倫子（九段坂病院皮膚科）

Clinical evaluation of fenothrin shampoo for pediculosis

Ohtaki, N.

シラミ症の患者85例に0.4%フェノトリンシャンプーを用い、その治療効果を検討した。85例中評価対象症例数はアタマジラミ63例、ケジラミ12例である。

方法：1回使用量はアタマジラミで10~20ml、ケジラミで3~5mlをシラミの寄生部位に塗布し5分後に洗い流す。これを3日間隔で3~4回繰り返した。

効果判定基準：シラミの数、卵数、生卵数/10卵中、掻破痕、痒痒感をもととした。

結果：中等度改善以上の有効率はアタマジラミでは92.1%、ケジラミでは100%、両者合わせて93.3%という結果となった。

使用時に刺激性を示した症例もなく、使用前後での臨床検査成績の変動も正常範囲内であった。

結論：フェノトリンシャンプーはシラミ症に安全かつ有効であるという結果を得た。

122 薩摩黒島におけるブユとその対策—殺虫剤の効力実地試験—

○小曾根 努（三共㈱）、佐藤英毅（川崎市衛研）

Control of blackflies in Satsuma Kurosima Island -Field evaluation of larvicides-

Kosone T., and Sato H.

演者らは1988年8月以降、鹿児島県三島村黒島におけるブユの発生調査及びその駆除を行ってきた。昨年8月22日~27日に第4次現地調査で、殺虫剤の効力実地試験を実施したので、その結果について報告する。

供試薬剤はtemefos水和剤、diflubenzuron水和剤、chlorpyrifos-methyl水和剤の3種類である。本島では、駆除開始時からtemefos水和剤を使用してきたため、本薬剤に対するブユ幼虫の抵抗性発達の有無そして、他の2剤については代替剤としての可能性の有無を調査した。

ブユ幼虫の採集及び河川の流量測定後、各薬剤を10分間、流量に対して指定の濃度になるよう投入した。temefos水和剤、chlorpyrifos-methyl水和剤は薬剤投入から24時間後、遅効性のdiflubenzuron水和剤は2~3日後にブユ幼虫の生息数を確認し、効果判定を行った。

その結果、temefos水和剤は基準濃度である1ppm/10minでブユ幼虫に対して効果が認められた。また、diflubenzuron水和剤は0.5ppm/10min、chlorpyrifos-methyl水和剤は2ppm/10minで効果が確認されたが、他の水生昆虫に対しても若干影響がみられた。